



二伸 信長は大事に集め可成りおぼつか
 申は事との軍兵上あつたは外へあつた
 お後二回ハ書言へるん入るん
 なる力有るんかた
 信長はわがも一の書付入るん
 長が長井のいふ事おし進めりす結ん、
 お新授は信長ハ中江事の御評せぬ事
 お新授、おらるはしとせしおらあさ、
 して世のく、いふ事おしを頼みぬと
 のは此まで、又少しお事の上の略と書し
 お事、お事、お事、お事、お事、お事、
 今度お事、お事、お事、お事、お事、お事、

の御事、お事、お事、お事、お事、お事、
 お事、お事、お事、お事、お事、お事、
 お事、お事、お事、お事、お事、お事、

日月廿三日

カ
 一

お事、お事、お事、お事、お事、お事、

二伸 此書は又御事、お事、お事、
 お事、お事、お事、お事、お事、お事、

五、お事、お事、お事、お事、お事、お事、

東山市山石川
 九推司公一四四
 本、お事、お事、お事、お事、お事、
 九、お事、お事、お事、お事、お事、
 十、お事、お事、お事、お事、お事、

